

令和 5年 8月 10日

守谷市議会議長 殿

委員長： 渡辺 大士 印

報告者： 首藤 太亮 印

保健福祉常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	2023/8/10
視察・研修場所	豊明市役所
視察・研修項目	地域包括ケアについて
参加者	守谷市側 渡辺委員長 田中副委員長 海老原委員 首藤委員 高梨 (恭) 委員 高梨(隆) 委員 高橋議長
	相手側 近藤副議長 健康福祉部部長 中村 健康福祉部長寿課伊 神 課長補佐 藤弘
視察・研修目的	地域包括ケア豊明モデルについて
視察・研修内容	<ul style="list-style-type: none">・地域包括ケア豊明モデルについて 背景として大都市近郊の高齢化の典型後期高齢者人口の著しい増加、豊明団地を中心に独居高齢者・高齢者のみの世帯の増加それに伴い医療・介護ニーズが高まっている 課題としては医療介護を担う人材の確保困難、在院日数の短縮全国平均、県平均を上回る1人当たりの医療費など団塊世代を要介護状態にさせない、重度化させない仕組みが求められる。・地域包括ケア「豊明モデル」の歩み 愛知県地域包括ケアモデル事業 平成26年度～平成28年度(3年間)「豊明団地」をモデル地

	<p>域とし豊明市・藤田医科大学・UR 都市機構とともに事業展開を行う。豊明団地に学生や職員など改装した部屋に割引（1～2 割引）で居住することができ高齢化している団地の自治会活動や災害時の安否確認、避難誘導などを行うことを条件に高齢世帯の孤立を防ぎ「おだやかな暮らし」「ささいな幸せ」「真の豊かさ」ふつうに暮らせるしあわせをいかに守り支えるかを理念に行っている。</p> <p>・介護予防・日常生活支援「総合事業」とは 要介護の必要度に応じ全国一律の基準などが存在するが事業対象者～要介護 1～2 の高齢者は各市町村の特色が出てくる、豊明市における介護予防事業の政策としては「元のふつうの暮らしへ戻し、効果的に介護予防する」ことを主としている。</p> <p>あくまで豊明市が目指す地域包括ケアの方向性としてはできるだけ本人の「ふつうに暮らせる幸せ」を支え超高齢化社会に向け新たな価値を創造し行政と協定企業、地域で支え元の生活を送れるようにを掲げ様々な体制づくりや実際に市職員が外に出て市民とふれあいを大事に活動している。</p>
<p>視察・研修総括 （今後の取組み 等）</p>	<p>今回視察を行った豊明市は近隣の市町村に比べ高齢化が進んだ地域となっており近隣地域に先んじて様々な医療・介護ニーズにこたえるための有明団地をモデル事業に様々な活動を展開している、今後守谷市をはじめ日本で高齢化が進む中で親類だけでなく今後は行政、医療機関、地域自治体など地域で高齢者を見守っていく体制や地域や個人の理解を早い段階で浸透していく必要がある、今後守谷市にも豊明市のような地域に沿った独自の地域包括ケアの基盤作りが必要であると考えます。</p>